

復興の希望



From
the People of Japan



UN

DP

アフガニスタンの人々の
生活を変えるための
日本とUNDPの活動

2021年4月～2023年6月

著作権©国連開発計画(UNDP)アフガニスタン事務所。無断複写・転載を禁じます。本書で述べられている見解は著者のものであり、必ずしもUNDPを含む国際連合やその加盟国を代表するものではありません。





命と地域社会を救う パートナーシップ

「アフガニスタンの人々は、最も暗く不安な時でさえも、UNDPと日本政府の揺るぎない支援を頼りにしてきました。

アフガニスタンとその国民にとって、この2年余りがとてつもなく困難なものであったことは間違いありません。私たちの活動に対する日本からの継続的な資金援助により、UNDPはアフガニスタン全土でプロジェクトを展開し、何百万人もの人々に対して人間の基本的なニーズを満たすサービスを提供することができています。

こうした取り組みにより、人々はその健康と安全が保障され、収入を得る機会が増え、ビジネスや地域経済が活性化し、環境が保護され、対話の促進を通じて将来的な暴力の可能性が減少し、洪水や干ばつなどの自然災害に立ち向かえるコミュニティが整備されました。

日本の人々の寛大さにより、私たちは基本的なニーズである水や医療だけでなく、より良い未来への希望をもたらすこともできたのです」

— ステファン・ロドリゲス
UNDPアフガニスタン常駐代表



強力なパートナーシップが アフガニスタンにおける 前進の鍵に

「日本は UNDP とのパートナーシップのもと、アフガニスタンのコミュニティが直面する未曾有の課題に対処するための支援を行ってきました。日本政府と UNDP の開発協力により、アフガニスタンは人間の安全保障、保健、生計、経済、環境などにおいて大きな前進を遂げることができました。

このフォトブックは、2021年4月から2023年6月までの期間に、日本の資金で実施されたUNDPのプロジェクトによってアフガニスタンにもたらされた成果を、写真と裨益者の声を通じて魅力的に紹介しています。

日本はUNDPと協力し、アフガニスタンの人々が直面する課題に対処する能力を高め、多くの人々の生活がより良いものになるよう、引き続き支援していきます。日本とUNDPのパートナーシップは、アフガニスタンの明るい未来を追求する国際社会の連帯の精神を示すものです」

— 岡田隆

駐アフガニスタン日本国特命全権大使





人々の安全を向上させる

UNDPは日本の支援を受けて、地域の治安計画やコミュニティとの対話に取り組み、将来の暴力のリスクを軽減してきました。

“

「家族や地域の人たちから励まされ、
受け入れてもらいました」

— デナさん

UNDPの研修を受けた女性のまとめ役

261

平和構築と啓発活動に
携わる市民社会組織の数



ヘラートでは、若い男女が社会問題に積極的に取り組み、コミュニティの結束を育んでいます。社会的結束に焦点を当てたセッションを通じて、これらの熱心な人々は交渉や紛争管理のスキルを磨き、自らの権利を強力に主張する者となり、紛争解決の推進者となっています。



ヘラートの若い女性、パルワナさんは、コミュニティ参加とエンパワーメントの素晴らしいモデルです。彼女は、社会的結束のセッションで得た新たな技能を活かし、権利擁護者として頭角を現し、コミュニティの権利を代表し、紛争の平和的解決を推進しています。



家族の健康を守る

日本はUNDPがHIV/AIDS、結核、マラリアと闘いながら、遠隔地の村々に診療所と清潔な水を届け、学校やコミュニティに対して新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の情報を提供する取り組みを支援してきました。

“

「私は薬を買う余裕がありませんし、病院は村からとても遠くて通えません。移動診療所が村に来てくれたことで、私たちの生活の大きな問題が解決しました。今日、私は薬を手に入れられて、ほっとしています」

— **アーガンドさん**

バードギースの移動診療所の患者

429

COVID-19関連を含む、
医療機器と医薬品を
備えた学校と医療施設数



UNDPが支援する医療従事者は、特にこのような地方において、医療サービスを受けられない人々に重要な支援を提供しています。



彼らは、UNDPが支援する移動診療所で何千人もの村人にサービスを提供してきた、活躍めざましい医療専門家グループです。彼らの努力により、多くの人々が質の高い医療を受けられるようになりました。



バードギースの農村部で、地元の患者に薬を提供する移動医療チーム。このチームは遠隔地を巡回し、サービスが行き届いていないコミュニティの人々に医療サービスを提供しています。



バードギースの農村に住む高齢の女性は、UNDPが支援する移動診療所を訪れました。この移動診療所は、人里離れた村に初めて専門的な医療をもたらしました。



UNDPが提供するこれらの物資のおかげで、バードギースの遠隔地にいる献身的な医療専門家は、地域住民が切実に必要としている医療を提供できるようになりました。



経済を成長させ…

日本の支援により、何千人もの人々が、成長に必要な設備や再生可能エネルギーを活用して新しいビジネスを興す機会が得られるようになりました。また、私たちは女性や若者の育成に取り組み、アフガニスタンの女性主導の企業に新しい市場を開拓してきました。

“

「このコースを受講したことで、やりがいのある仕事を見つけたり、ソーラーシステムを修理する自分の店を開いたりすることが叶います」

— ハビブさん

ゴール在住の技術研修生

833,811

仕事、生計、キャッシュ・フォー・ワーク
を通じて支援を受けた男女の人数
(女性:219,155名)

8,967

支援された中小零細企業数
(女性主導/経営:7,011社)



ナンガルハール州ダラエヌールで防水壁の建設に従事する労働者たち。これにより、気候変動の影響からコミュニティが守られるとともに、キャッシュ・フォー・ワークによる貴重な現金収入の機会が提供されています。



ナンガルハール州ベスード郡チャルメスラ村で、収穫したてのサトウキビの束を運ぶモハマド・ジャマルさん。モハマドさんは、農業サプライチェーンの一員として、農産物が確実に目的地に届くよう重要な役割を果たしています。その勤勉さと献身は、地元経済に貢献し、多くの人々の生活を支えています。



カブールで開催された賑やかなアグロ・ビジネス・フェアに参加した商人のアブドゥル・ジャバルさん。アフガニスタンの最高級ドライフルーツとナッツの数々は、ジューシーなレーズンから香り高いアーモンドまで、どの製品もこの国の豊かな農業遺産を反映しています。



UNDPがカブールで開催した見本市で、ドライフルーツ商のハジ・ザヘルさんは、ドライフルーツ生産・加工業者のウズラ・アミニさんと実りある商談を行いました。市場動向や品質基準、革新的な慣行について話し合う2人の出会いは、アフガニスタンの盛んなドライフルーツ産業におけるさらなる協力の可能性を示しています。

「この展示会に参加したことで、製品の売上げが飛躍的に伸び、大きな契約を獲得することができました」—ウズラ・アミニさん(バルフのビジネスウーマン)



エンパワーメントの力強い表現として、女性起業家が誇らしげに、すべて女性によって生産されたさまざまな製品を紹介しています。手工芸品から工芸品まで、どの商品もビジネスにおける女性の才能、創造性、レジリエンス(回復する力)を象徴しています。

「ドバイの展示会に私たちの製品を出展することで、アフガニスタンの女性の技術を印象付けることができました。私たちの手工芸品が国際的に認められ、販売価格が上昇し、海外への輸出が可能になりました」—メジデ・ラスリさん(バルフの手工芸職人)



…そして農家を支援する

私たちは種子や設備、研修機会を提供することで、気候変動によってさらに厳しい状況に直面している農民が、より多くの農作物を栽培できるよう支援してきました。新しい灌漑用水路や防水壁は、作物と放牧地を洪水や干ばつから守り、また、新しい道路は農民が市場に容易にアクセスできるようにし、農民の利益を増大させています。

“

「娘に薬、本、文房具、衣類を
与えることができるようになります」

— バブジャナさん

ナンガルハールの寡婦で酪農家



UNDPは、インフラ、農業技術、近代的な設備、改良種子を農民に提供することで農業部門を強化し、ナンガルハール州ジャラーラーバード市ザンゴイエ村のような豊作をもたらしています。



ジャラーラーバード郊外のザンゴイエ村では、UNDPによる灌漑水路の建設により、収穫量の向上が期待されています。収穫量が増えることで、ハジ・マリクさんのような農民の収入が増加し、家族がより健康で安心して暮らせるようになります。

ジャラーラーバード近郊のチャルメスラ村では、新しく建設された道路が農業コミュニティの命綱となり、貴重な作物をより効率的に市場へ運ぶことができるようになりました。

地元農家のサイド・モハドさんは、野菜がより早く、より良い状態で市場に届けられることで腐敗を最小限に抑え、利益を最大化できると知って、次のシーズンを心待ちにしています。





西部地域で生計の支援と畜産業の育成を図る UNDP の取り組みの一環として、一家で唯一の稼ぎ手であるファティマさんに2頭のヤギが提供されました。今では持続可能な収入と、家庭での基本的な食事を補う乳製品を生み出す大切な存在となっています。

「健康に不安のあるひとり親としての私の状況を考えると、このヤギは希望をもたらしてくれます。年に2回、仔を産んでくれます。雄を売って雌の養育を支え、乳製品の事業を大きくするつもりです」—ファティマさん(バードギースの畜産農家)



アフガニスタンの農村部では、サイドモマさんのような女性たちが小規模な畜産農業を通じて極めて重要な経済的役割を果たしています。彼女たちの努力は自らの家族を支えるだけでなく、国家経済にも貢献しています。UNDP は農村部の農民を支援することで、経済成長を促し、持続可能な農業を推進し、アフガニスタン全土のコミュニティの明るい未来を確かなものにしていきます。

「ビジネスコースで技術を習得し、2頭の牛を購入しました。ビジネスの基本、高品質な酪農生産、流通について学び、私は成功できると確信しています。適切な牛の世話をすることで、自分自身を養い、他の人たちにも機会を提供することができるのです」—サイドモマさん(ヘラートの畜産農家)



ヘラートでは、カーン・モハメドさんが改良された種子、肥料、農薬散布機、その他の作物生産性向上のための道具の提供を受けました。「近代農業の研修を受けたので、農作物の収穫量を増やすことができます」—アブドゥル・バシットさん



改良された種子、肥料、器具などの農業用品を受け取ったサブールさんの笑顔がすべてを物語っています。これらの必需品は、彼がより効率的かつ前向きに土地を耕す力を与えてくれるでしょう。



国境を越えた貿易を促進する

日本とUNDPは、農家や企業が海外に新たな市場を見出すのを支援するだけでなく、アフガニスタンの人々が自国内でバリューチェーンの多くを獲得するために必要な技術、設備、インフラを提供しています。

“

「4か月間で多くのことを学びました。今では、ヒーターの給水ポンプやその他の電気機器の修理ができるようになりました。これからは自分の店を開くつもりです」

— ナジーブッラーさん

バルフのUNDPコース修了者



地元特産の凝乳製品、クルットを作る若手実業家のファリバさん。ファリバさんはUNDPのプログラムからの財政支援のおかげで、2021年の政変と経済崩壊の際に失敗しかけていた事業を立て直すことができました。新しいマーケティングとビジネススキルを身につけた彼女は、現在、事業に対して明るい未来像を抱いています。「これまでの比較的短いビジネスの道のりの中で目にしてきた成果を踏まえ、将来は国際的なビジネスウーマンになることを思い描いています」



ファリバさんが法科大学院の最終学年に在籍していた頃、女性の高等教育への参加が禁止されました。それは彼女に深刻な打撃を与えましたが、彼女のビジネスの成功が将来に新たな希望をもたらしています。



ファリバさんは自分のビジネスを再生させただけでなく、他の女性たちにも仕事を提供し、コミュニティの生活を一変させました。



バーミヤーンの才能ある地元アーティスト、アナヒタ・モハマディさんは、ウッドバーニングによるカリグラフィーや絵、ハンドメイドの宝石箱などの芸術作品を誇らしげに展示しています。彼女は、2021年の経済危機の余波が残る中、事業を再生・拡大するために起業家訓練と現金補助を受けた約9,000人の女性のうちの1人です。

「イマーム・アブ・ハニファの展示会に参加したことで自信が付き、売り上げが伸びました。感謝しています」



ライザ・イブラヒミさんは、伝統的なドレス、スカーフ、ジュエリー、手工芸品の製作を専門とする熟練した起業家です。彼女はバーミヤーン市内で店を経営し、バンデ・アミール国立公園で開かれるマーケットにも参加しています。ライザさんは、新しい技術を習得するための支援を受けた約9,000人の起業家のうちの1人です。今、彼女はビジネスにおける女性の成功の証となっています。



彼女は、マーケティング、パッケージング、ビジネス準備の幅広い研修を受けた、注目の起業家です。品質に対する鋭い目と工芸品への情熱で、彼女は繁盛するビジネスを確立し、地域の起業家志望者のロールモデルとなっています。



起業家精神と伝統遺産への誇り！ バンデ・アミール市場にて、バーミヤーンの大磨崖仏群の目の前を通過する古代シルクロードの描かれた刺繍を披露する女性起業家。UNDPの支援を受けて、彼女は新しいビジネスとマーケティングのテクニックを習得し、それを活用して売り上げを伸ばすとともに、地域の文化遺産について誇りを持って伝えています。



UNDPは、アフガニスタンの女性起業家に新たなスキルを習得させ、伝統的な製品の市場参入を支援しています。彼女たちはアフガニスタンの文化遺産を守り、その職人技は観光客を惹きつけ、そして地域や農村部の経済成長を後押ししています。



ザハラ・ワファさんはバーミヤーン市を拠点とする起業家です。地元のバザールで女性用衣装、手工芸品、宝飾品を扱う彼女の店は、女性主導の活気あるコミュニティの一部となっています。包括的な訓練プログラムを通じて、彼女はビジネススキルを磨き、UNDPからの資金援助を受けて、事業を拡大することに成功しました。ザハラさんのストーリーは、エンパワーメントがもたらす変革の力を示す一例であり、バーミヤーンの経済成長と持続可能性の推進における女性の重要な役割を印象付けるものです。

「UNDPの支援により、私は材料を購入し、従業員を再雇用し、生産量を増やし、カブールとヘラートで契約を取り付け、そして自分のビジネスと生活を一変させることができました。今では60人の従業員を抱え、売上も収入も好調で、大喜びです」—ザハラさん(バーミヤーンの手芸職人)



バーミヤーンのバンデ・アミール国立公園のバザールにて、手工芸品で客を魅了する女性起業家のマヌー・イブラヒミさん。

「カブールで開催された2つの展示会を通じて、私は貿易に携わる女性仲間とつながり、値段の良い製品を販売し、その収益で私たちの工房を充実させ、生産と販売を拡大することができました。感謝と喜びでいっぱいです」—マヌー・イブラヒミさん(バーミヤーンの手芸職人)



緊急事態に対応する

2021年の経済崩壊の後、日本が資金を提供したキャッシュ・フォー・ワーク・プログラムは、各家庭における食料の購入、子どもたちの通学、医薬品などの必需品の入手を支援しました。

新しく建設された灌漑用水路、ダム、防水壁といった、この取り組みによる成果は、将来の気候災害からアフガニスタンの人々とその家屋や農場を守る役割を果たします。

“

「地元の財産や土地を守ることに貢献しただけでなく、家族のために生計を立てることもできました」

— ハーリドさん

マザーリシャリーフ近郊の洪水多発地帯の村人

1,111,274

健康、教育、代替エネルギーへのアクセスについて支援を受けた男女の人数



この写真は、パクティーカーで発生した地震の後、コミュニティが団結して生活と家屋の再建に取り組む回復の精神を捉えたものです。復興への努力は、UNDPのような組織からの支援と地元の人々の強い決意とが結びついて可能になりました。



ナンガルハール州で防護壁の造成に取り組むアフマドゥラさんの満面の笑み。この重要なインフラ・プロジェクトは、季節的な鉄砲水や河川の増水による破壊的な影響からコミュニティや家屋、農地を守ることを目的としています。アフマドゥラさんの努力は、地域住民のレジリエンス(回復する力)と、自分たちの生活を守り、将来の世代のために安全な環境を作ろうという彼らの決意を象徴しています。



キャッシュ・フォー・ワーク・プロジェクトに参加した直後、子どもたちとともに写るモハマド・ナシムさん。プロジェクトへの参加により、家族の生活状態を改善し、必需品を購入することができました。



ナンガルハールのキャッシュ・フォー・ワーク・プロジェクトに参加したナイマトゥラさんは、家族を養いながら、自分のコミュニティのために道路と防水壁の建設を手伝いました。この取り組みは全国各地で実施されており、経済危機の最中にある何千人もの男女の命綱となっています。



マザーリシャリーフにあるランガルハナ運河は、豪雨時の地域コミュニティの生命線となっています。その戦略的な立地と設計により、運河は過剰な水を迂回させて管理し、洪水を防いで周辺地域を保護するのに役立っています。



環境を保護する

日本は、太陽光発電システムと効率的な調理設備に資金を提供することで、排出量と森林破壊の削減に取り組むUNDPを支援してきました。これにより、大気汚染によって引き起こされる病気を食い止め、学校、診療所、企業が停電中も営業を続けられるようになり、また遠隔地では初めて電力を得ることができるようになります。

“

「このクッキングストーブからは煙も出ませんし、健康にも害を及ぼしません。それに今は誰もが少しでもコストを削減しようと必死なのです」

— ハディージャさん
バーミヤーンの村人

5,054

再生可能エネルギーを
利用している施設数
(4,988の医療施設、66の教育機関)



ある農村では、ソーラーパネルの設置が農家に一筋の光と希望をもたらしました。他の農機具と同様に、これらのソーラーパネルがクリーンエネルギーを供給することで、農家は収穫を最大限に増やすことができます。クリーンエネルギーへの移行は、持続可能性を促進するだけでなく、バルフ地域の農家にとって、従来のエネルギー源への依存を減らし、コスト削減や環境的な恩恵を受けることにもつながります。



カーピーサー州の州都であるマームディラキ市では、小さな診療所がUNDPのソーラーパネルを屋根に設置して持続可能なエネルギーを導入しています。この取り組みはコミュニティの医療サービスの強化に役立ち、中断のない医療サービスの提供が実現し、患者への対応が改善されます。



太陽光発電のおかげで、カーピーサーの医療施設の緊急対応ユニットが稼働している。62歳のアブドゥル・カリムさんは現在、自らの深刻な健康問題にとって必要不可欠な医療支援を受けています。



“

「私たちの生活に前向きな変化をもたらしてくれたUNDPと日本のプロジェクトに感謝しています。私たちアフガニスタン国民とのパートナーシップは長きにわたり、大きな影響を与えてくれました。私たちのコミュニティに変化をもたらしてくださり、ありがとうございます」



ハジ・マリクダッドさん(コミュニティの長老、カブール州
グルダラ郡)



”



国連開発計画(UNDP)アフガニスタン事務所

 www.undp.org/afghanistan
 [company/undpinafghanistan](https://www.linkedin.com/company/undpinafghanistan)

 [undpaf](https://twitter.com/undpaf)
 [undpafghanistan](https://www.youtube.com/channel/UCundpafghanistan)

 [undpafghanistan](https://www.instagram.com/undpafghanistan)
 partnerships.communications@undp.org

 [undpinAfghanistan](https://www.facebook.com/undpinAfghanistan)